

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成31年2月5日 VOL. 90

「ふまねっと運動」で健康づくり・介護予防・まちづくり

平成31年1月25日（金）藤枝市民会館会議室を会場に、**認定NPO法人ふまねっと**（事務局：北海道札幌市）主催の「ふまねっと運動講演会&体験会」が開催され、ふまねっとサポーター代表や市民など約50人が参加しました。

本市出身ふまねっと考案者による講演会

考案者のNPO法人理事長の**北澤一利さん**（元北海道教育大学教育学部教授）は、青葉町出身。
自主的な健康づくり活動を支援し、社会を市民の力で良くしていこうとふまねっとの意義を講演しました。



「**高齢者は高齢者を支えることができる**」「**ひとりで頑張るからみんなで頑張る**」と語りかけ「自由で楽しく優しく、明るく柔らかに正しく、公平に背筋を伸ばして胸を張ってまっすぐに、正々堂々と」の言葉が印象的でした。

ふまねっとサポーターによる実技体験会



養成講習会を受講して指導者となった「ふまねっとサポーター」の活動の基本は**ボランティア**。
安全に配慮し、寄り添って指導してくれました。

サポーターは高齢者のふれあいサロンやはつらつシニア大学OB会、また地区社協の交流事業やイベントなど幅広く活動しています。50cm四方のマスを踏まないようにステップしますが、**合言葉は「失敗大歓迎！」**この交流感覚が魅力で、市内全域に活動の輪が広がっています。

平成30年度 藤枝市認知症初期集中支援チーム検討委員会 を開催

平成31年1月22日（火）市役所大会議室において本市認知症初期集中支援チームのチーム員による支援の振り返りを行い、効果的な支援やチームの平準化について検討しました。

認知症初期集中支援チームとは、認知症になっても本人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とし、平成28年1月に県内6番目に設置しました。本市は市内7カ所の安心すこやかセンター（「藤枝市地域包括支援センター」通称「あんすこ」）に設置し、**あんすこの医療系専門職と福祉系専門職、さらに志太医師会医師8人でチームを構成しています。**



| 年度 | 実績 |
|--------|----|
| 平成28年度 | 2件 |
| 平成29年度 | 6件 |
| 平成30年度 | 2件 |

実績は最終数で計上。平成30年度は、別に2件の支援を継続している。

支援の振り返りを目的に、あんすこより「認知症初期集中支援チームとして、内科医師につないだケース」と「医師からの相談を地域包括支援センター業務として包括的・継続的ケアマネジメント業務で対応したケース」などの事例を報告しました。

認知症初期集中支援チームの「**初期**」は「**認知症の初期段階**」の意味だけでなく、「**認知症の人への関わり**の初期」という意味を持ち、**症状だけで稼働の有無を判断するものではないこと、また関係者間との連携を常に意識し、情報が共有できる仕組みが有効であることなどを確認しました。**特に医師からは「ご本人の現病歴、既往歴、生活情報等に加え、家族の状況を整理して情報提供されるので、判断するのに非常に有効である」という意見があり、初期集中支援チームの事例にならない場合も、同じような記録整理をしていくことで、支援者間の情報共有ができることを実感しました。